

# 『安倍政権下の政治・経済と参院選の行方』

時事通信社解説委員 田崎 史郎氏



まず、私が政治を見る視点としてどういう考え方をしているかをお話ししようと思います。

一つには、『政治は政治家という人間の営みだ』ということ。私たち報道機関が政治家の「人間性」について報じることはあります。しかし、政治にはその政治家の「人格や人間性、思惑、感情など、さまざまなもの」が混ざっています。それらが政治を動かしている大きな要素なのです。

では、政治家は何で動いているのでしょうか。それは「情」と「理」と考えています。情とは「なさけ」、二つの「り」とは「ことわり」の「理」と利益の「利」です。

正しい事、正しい政策であっても実現しない。それが現実です。おそらく、皆様の会社でも同じではないでしょうか。誰かが意見を言う。その意見に賛成するかどうかの判断は、「正しいかどうか

うか」がおよそ半分、残りの半分は「情」と「打算」で決まります。

これまで世話になつたかどうか。いじわるされたことがあるか。協力する自分が自分にとって得か、損か。相手との距離を考えて動くのが「政治」だということです。

## 安倍政権は長期化するのか

日本の政治史において総理大臣を2

回務めた方は、吉田茂さんと安倍晋三さんのお二人です。吉田茂さんの場合、最初は1年、次は6年間務めました。

自民党総裁の任期は一期3年、二期までと決まっています。安倍さんは昨年9月の総裁選で選ばれたので、少なくとも15年9月までは確実です。もし再選されれば18年9月までということになります。いま安倍政権は長期政権

化するだろうと言われていますが、私は、6年間の可能性もあるのではないかと予想しています。

## 挫折から立ち直る過程で得たもの

安倍さんは今年に入つて3回食事でいるので、参院で否決されても衆院で再議決できる勢力を持っています。参院選の結果、おそらく自民・公明で過半数を占めるだろうと思われますが、やはり衆院で3分の2の議席を持つていることは政治の安定にとても重要なことです。

民主党政権で野田佳彦さんがTPPの参加表明を実現できなかつたのは、当時の農水大臣が徹底的に反対したからでした。しかし、TPP参加が民主党政権下で行われていたなら、おそらく民主党は分裂していただけでしょう。逆に、自民党はそれほど大きな対決にならずに交渉参加を果しました。

自民党政権の運営方法の一つとして、

族をもつて族を制するという考え方があります。毒をもつて毒を制するみたいなものですね。TPPに反対していたのはまず農林族のボスを政権側が取り込むことでした。党内を上手くまとめる知恵において、やはり自民党の方が優れていると思います。自民党という政党は政権運営の方法をよく知っているということです。

安倍さんは今年に入つて3回食事をご一緒にしました。秘書官を通じて、「そろそろ飯食いませんか」と連絡するとすぐに日程を調整してくださいます。4年前、誰も安倍さんのところに行かない頃に取材を申し込み、それ以来のお付き合いです。安倍さんが立ち直る過程と私たちの取材がちょうど重なったんですね。ちなみに、状況が良くなつてから取材に来た記者には会おうとされません。

突然の退陣は6年前、所信表明演説のわずか二日後でした。野党の代表質問が行われる日だったんですね。なぜこんな大事な時に辞めるのか。政権の投げ出しじゃないのか。議員辞職に値する。とんでもない事だ。そう思われ

た方も多かつたことでしょう。私も厳しい主旨の発言をした覚えがあります。

「当時、私の自信と誇りは人々に碎け散つてしましました。その後、その碎け散つた自信と誇りを拾い集めていく作業が続きました。とても一人では出来ませうございませんでした。元日の国会で、そ

の時の心境についてこう語つておられました。今日ここにいらつしやる皆さまにも、おそらく人に言えないようなご苦労がおありだと思います。しかし、あれほど世の中の人々から激しいバッシングを受け、自信と誇りが粉々に砕け散った経験をされた方は少ないのでないでしょうか。

秘書さんから聞いた話では、その後一年ほどは放心状態で、何を言つてもあまり反応がなかつたとのことです。先週、安倍晋太郎さんを偲ぶ会が開かれたのですが、檀上で昭恵夫人が「当時は外に出るのも怖かつた」と話しておられました。

この世には二つの種類の政治家 人間がいます。どん底に落ちた時、それでも一緒にやつていこうと言つてくれる人。さつさと逃げ出していく人。安倍さんは人前で顔に出すことはありませんが、昨年の衆院選後、地方へ向かう車内で秘書官を相手に、一人ひとりについて語つておられたそうです。

リーダーに求められる「判断力」

どん底から這い上つて来る過程で安倍さんが得たもの。それは、人を見る眼でした。本当にこの人を信用していくのか、という人間の基準を学ばれたのだと思います。官房長官の菅義偉（すがよしひで）さんは、「安倍さんは地獄で見に立派なミミーと言つてほい」と。

になつてゐるのは確かです。一国の総理大臣に對して「成長した」という言葉は少し失礼かもしませんが、政権長期化が予想される一つの理由として、安倍さんが政治家として非常に成長されたことがあります。

## リーダーに求められる「判断力」

した。特例公債法案を人質に解散総選挙に追い込もうという戦略だったわけです。いわば北風を当てて相手を追いこんでいく方法です。

しかし、菅さんの考えは違いました。ここで特例公債法案を成立させなければ国民党の批判は自民党に来ると言つたのです。野田さんは8月の時点で、近

いうちに解散すると言つてしまつた。すべての法案を成立させれば解散せざ

るを得なくなるだろう。そんな読みを立て、安倍さんや石破さんなどの自民

党幹部を説得して回りました。北風と太陽ならば、太陽の方法をとったわけです。政治家にとっていちばん大切な

のは「判断力」です。菅さんは「判断力」と「胆力」にたいへん優れた方だと思

い  
ま  
す。

## 「人間力」を高めるには

先日、アサヒビールの樋口広太郎さんが亡くなられました。樋口さんは、「攻めと守り、このタイミングの見極めこそが経営である」という言葉を遺しています。トップはどこかで攻めと守りのタイミングを決めなければいけません。会社の経営に求められるのもやはり「判断力」なのです。

## 「人間力」を高めるには

政治とは、「人」を動かすことです。

人とは、有権者であり政治家であり官僚であり、我々マスコミのこと。政界には、東大卒や、ハーバード卒という人たちが何人もいます。彼らは確かに頭がいいのでしょうが、人望があるか

「 と い う と そ う で は な い 。

「北風と太陽」は、紀元前6世紀頃に書かれたイソップ寓話です。北風が力いっぱい吹くと、旅人はマントをますます固く握りしめ、太陽が照らすと、暖かくなつて自ら脱いだという話です。私たち人類はそんな昔から、人を動かす



した。菅さんは生まれ育ちからして大変な苦労人です。今、その二人がコンビを組んでいる。安倍政権が強いと言われている所以はそこにあるのではなかかと思います。

小泉進次郎さんと話をすると、この人は凄いな、いいセンスをしているな、

とよく感じます。あるとき、「田崎さんはこの先、何をしたいんですか」と訊かれました。今までそんな質問を政治家から受けたことはありません。「政治は人間が動かすものですから、私は人間を追い続けたいんですよ」と答え

頭脳で動かせないのが政治です。人を動かすのに学歴や学力は関係ありません。私は、政治を動かすのは「人間力」だと思っています。34年の政治記者生活で、私が一番人間力を感じた政治家は田中角栄さんです。とにかく、話を聞いていると吸い込まれるような感覚になりました。この人には敵わない、何か言われたら全部その通りにしなくてはならない。そう思われる不思議な力がありました。

先日の講演後、「どうすれば人間力がつきますか」という質問を受けました。どうすれば、と言わなくても困りますが、「その人が生きてきた道程でどれだけ苦労したかではないでしょうか」と答えました。

安倍さんは政治家として地獄を見ま

ら8%に、15年10月に8から10%へと2段階で引き上げられることがすでに決まっています。今後もし経済状況が悪くなつていけば、消費税を引き上げないでおく法案を新たに通さなくてはいけません。おそらく10月あたりに判断することになるでしょう。

最大の問題は東京電力の新潟県柏崎刈羽原発を再稼働させられるかどうか。これは皆さんの生活、会社の経営にも関わってくる問題です。3・11後、東電年に一回で5%から10%にしたらどうかという考えです。住宅については今まで契約すれば消費税は5%のまま、9月以降の契約は8%とするなど、すでに準備を進めている業界も多く、もし変更が行なわれることになれば、混乱も生じるでしょう。

期待しています。

昨日、国債の金利が瞬間的に1%まで上昇しました。日本が財政再建にあまり熱心に取り組んでいないとマーケットが判断すれば、国際市場が大きく荒れる恐れがあります。こういうリスクを避けるためにも、消費税は段階的に上がっていく方が無難でしょう。おそらく9割方、そうなつていくと思われます。

二つ目は原発稼働の問題です。今日ここにいらっしゃる方々の中にも、原発なんてとんでもないと思われている方も多いと思います。もちろん、これ以上ないというほど安全性を確認した

上でのことですが、この政権は原発の再稼働を進めていきます。すでに愛媛県の伊方原発、佐賀県の玄界原発、鹿児島県の川内原発、福井県の高浜原発、北海道の泊原発まではスケジュールに載っています。

三つめはTPP（環太平洋連携協定）の問題です。現在、自動車の対米輸出は、米国で自動車には2.5%、トラックには25%の関税が課せられています。日米交渉では、これをできるだけ長く維持することを約束させられました。日本の自動車業界にとって非常に不利な条件となつたわけです。

浜田宏一さんや高橋洋一さんなど、安倍さんの周りの学者の方々は、再来年に一回で5%から10%にしたらどうかという考えです。住宅については今まで契約すれば消費税は5%のまま、9月以降の契約は8%とするなど、すでに準備を進めている業界も多く、もし変更が行なわれることになれば、混乱も生じるでしょう。

安倍政権が決断しなければいけない三つの問題、消費税、原発再稼働、TPPについて触れておきます。昨年野田政権下で消費税増税法案が成立しました。2014年4月に5か

## 直面する三つの問題

ここで、安倍政権が決断しなければいけない三つの問題、消費税、原発再稼働、TPPについて触れておきます。

安倍さんは政治家として地獄を見ました。2014年4月に5か

これに対して、「自民党は外交に強いといいながら、民主党政権の時以上に譲歩を迫られているんじゃないか」と批

衆参のいわゆる「ねじれ」が解消されることになります。世論調査などから、与党で安定多数を獲る可能性は確実と

川の流れのように

想を立て、取材対象にぶつけて、それが正しいかどうかを検証する作業を日々続けてきました。本日はその経験

判する民主党議員もいるようです。野田さんがTPPの交渉参加に向けて関係国との協議に入ると表明したのは2011年11月11日。結局、農水大臣だった鹿野さんが徹底的に反対したために実現しませんでした。

野田さんが一番通したかった法案は  
社会保障と税の一體改革でした。鹿野  
さんはその法案には賛成していたため、

TPPは多国間交渉ですから、参加する時期が遅れれば遅れるほど条件が不利になります。野田さんの時に入つていたなら、少なくともカナダやメキシコよりは有利な条件となつていたはずが、できなかつたのです。日本と同じ時期に協議に入ったカナダとメキシコは、昨年10月に参加表明を果たしました。

7月の参議院選挙における最大の焦点は、自民党と公明党で63議席を獲得するか。参議院の定数は242議席。3年ごとにその半数が改選されます。非改選議席を含めて過半数を獲れれば、

2013夏、参院選の行方

前回の衆院選では野党がノラハラに戦つたので自民党が相対的に有利になりました。同じ過ちをまた野党が繰り返すことになりそうです。先日、みんなの党が維新の会と縁切り宣言をしています。前回のような選挙協力による棲み分けが出来なくなつたので共倒れの可能性が少なくありません。

改選数2以上の選挙区は16。そこで  
は確実に各1議席、もしかしたら2議  
席獲れる可能性が十分あります。今ど  
きの調査をみても自民党の支持率は4割  
を超えて いますから、比例代表は少な  
くとも18議席。予想では、自民党单独  
で63議席、公明党と併せれば70議席は  
獲れそうな勢いです。

の調査をみても自民党の支持率は4割を超えていますから、比例代表は少なくとも18議席。予想では、自民党単独で63議席、公明党と併せれば70議席は獲れそうな勢いです。

確かに自民党の勢いもありますが、それを助けているのは野党なんですね。前回の衆院選では野党がバラバラに戦つたので自民党が目的に有利にな

りました。同じ過ちをまた野党が繰り

棲み分けが出来なくなつたので共倒れの可能性が少なくありません。

講師プロフィール

◆ 昭和25年、福井県生まれ。48年中央大学法学院卒業後、時事通信社入社。54年から政治部。内閣記者会、外務省記者クラブを経て57年から平河記者クラブ。自民党田中派、竹下派、橋本派を中心に取材。◆ 平成5年政治部次長。同9年編集委員、15年解説委員、18年に解説委員長。定年に伴い同22年から解説委員。政治取材は約34年になる。

◆テレビ朝日系「やじうま」[TBS系]サタずば」「ひるおび!」をはじめ、TV出演多数。「文藝春秋」「週刊現代」に執筆。